

21 seiki kyouiku forum

弘前大学21世紀教育センター

第9号 2014

特別寄稿

- 1 アクティブラーニングの環境整備 林 一雅

論文

- 9 1) ボローニャ・プロセスへの対応による新たな学位・単位制度の活用と課題
—ドイツ・スイスにおける取組から— 田中正弘, 森 利枝
- 19 2) 地域貢献を意図したアクティブ・ラーニングについての考察 —顧客満足の追求— 保田宗良
- 27 3) 医学科1年次教育科目「臨床医学入門」におけるワークショップ授業の教育効果
加藤博之, 松谷秀哉, 大沢 弘, 中根明夫
- 35 4) 外国語授業における創造的なタスクの推進 バードセール・ブライアン
- 43 5) 仕事を楽しめる能力 ～アクティブラーニングとの接点～ 小磯重隆
- 53 6) 文法を教えるという難題から私が学んだこと フォーサイス・エドワード

書評

- 61 1) 安部 孝／真田樹義／尾崎隼朗著『サルコペニアを知る・測る・学ぶ・克服する』(ナッパ、2013年)
戸塚 学
- 63 2) 藤本夕衣著『古典を失った大学—近代性の危機と教養の行方』(NTT出版、2012年)
仁平政人

講演会及び研究集会の記録

- 65 1) 「生命科学分野における必要な基礎教育」に関する意見交換 (生物学)
—農学生命科学部若手FD座談会より— (『21世紀教育センターニュース』より転載) 大河 浩
- 67 2) アクティブラーニングを考える —「人間のこれから」という授業の実践から—
(『21世紀教育センターニュース』より転載) 藤田昇治
- 69 3) 平成24年度弘前大学非常勤講師研修会 テーマ「21世紀教育科目に関する研修会および意見交換会」
(『21世紀教育センターニュース』より転載) 田中正弘

その他

- 71 1) 平成25年度前期21世紀教育に関する学生アンケート (『21世紀教育センターニュース』より転載)

刊行・投稿規定・執筆要項

『21世紀教育フォーラム』(第9号)

目 次

特別寄稿

- アクティブラーニングの環境整備……………林 一 雅 1

論 文

- 1) ボローニャ・プロセスへの対応による新たな学位・単位制度の活用と課題
—ドイツ・スイスにおける取組から— ……田 中 正 弘, 森 利 枝 9
- 2) 地域貢献を意図したアクティブ・ラーニングについての一考察
—顧客満足の追求— ……………保 田 宗 良 19
- 3) 医学科1年次教育科目「臨床医学入門」における
ワークショップ授業の教育効果 ……………加 藤 博 之, 松 谷 秀 哉
大 沢 弘, 中 根 明 夫 27
- 4) 外国語授業における創造的なタスクの推進
……………バードセール・ブライアン 35
- 5) 仕事を楽しめる能力 ～アクティブラーニングとの接点～
……………小 磯 重 隆 43
- 6) 文法を教えるという難題から私が学んだこと
……………フォーサイス・エドワード 53

書 評

- 1) 安部 孝／真田樹義／尾崎隼朗著
『サルコペニアを知る・測る・学ぶ・克服する』(ナッパ、2013年)
……………戸 塚 学 61
- 2) 藤本夕衣著
『古典を失った大学—近代性の危機と教養の行方』
(NTT出版、2012年) ……………仁 平 政 人 63

講演会及び研究集会の記録

- 1) 「生命科学分野における必要な基礎教育」に関する意見交換（生物学）
—農学生命科学部若手FD座談会より—
（『21世紀教育センターニュース』より転載）……………大 河 浩 65

- 2) アクティブラーニングを考える
—「人間のこれから」という授業の実践から—
（『21世紀教育センターニュース』より転載）……………藤 田 昇 治 67

- 3) 平成24年度弘前大学非常勤講師研修会
テーマ「21世紀教育科目に関する研修会および意見交換会」
（『21世紀教育センターニュース』より転載）……………田 中 正 弘 69

その他

- 1) 平成25年度前期21世紀教育に関する学生アンケート
（『21世紀教育センターニュース』より転載）…………… 71

刊行・投稿規定・執筆要項…………… 74

『21世紀教育フォーラム』刊行及び投稿規定

1. 本『フォーラム』は、高等教育に関する実践的・学術的研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として年1回、3月末とする。
3. 原稿の締切は概ね1月上旬とする。
4. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
5. 各論文の長さは図表等を含めて、400字詰め原稿用紙に換算して50枚以内とする。
6. 原稿の作成に際しては所定の執筆要項（別掲）に従うものとする。
7. 翻訳・書評・提言に関しては編集委員会で決める。
8. 校正は原則として著者が行い、3校までとする。
9. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。
10. 本『フォーラム』に掲載される内容は、センターのホームページで公開される。

この規定は、平成17年11月から施行する。

この規定は、平成23年7月から施行する。

『21世紀教育フォーラム』執筆要項

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、パソコン等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。原稿は3部提出する（3部のうち2部はコピーでかまわない）。
なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記した記録媒体を添付することが望ましいが、電子ファイルでの提出も可とする。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。
3. 本文の前に要旨（Abstract）及びキーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文の場合には120語以内とする。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当箇所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また、単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入箇所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真を含む。白黒のみ）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することを避け、原則としてひとつずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるような明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては所定の「投稿申込書」を添付し、編集委員に確認を受ける。

『21世紀教育フォーラム』編集委員会

編集委員長 田中正弘 (21世紀教育センター高等教育研究開発室)
編集委員 戸塚 学 (教育学部)
保田宗良 (人文学部)
仁平政人 (教育学部)

編 集 後 記

『21世紀教育フォーラム』(第9号)を発刊することが出来ました。本号は、本学の教育改革の主題となっている「アクティブ・ラーニング」について考察したものが多々含まれることとなりました。

具体的に、林氏(東京農工大学)には、本学でのFD講演(平成25年6月26日)を踏まえた論文「アクティブラーニングの環境整備」を特別に寄稿していただきました。この論文において、マサチューセッツ工科大学や東京大学の事例が詳細に説明されており、本学にとって大いに役に立つ情報が掲載されています。また、保田論文は地域貢献を意図したアクティブ・ラーニングを、加藤他論文は医学科におけるアクティブ・ラーニングを、バードセール論文は英語教育におけるアクティブ・ラーニングを、小磯論文はキャリア教育におけるアクティブ・ラーニングを、それぞれ考察しています。これらの論文を通して、本学における優れた実践例も紹介することが出来ました。

本号が、本学も含めた日本の大学におけるアクティブ・ラーニングの推進に、なにがしかのヒントを与えられるものとなったのならば、存外の喜びです。

(田中正弘)

『21世紀教育フォーラム』第9号

発行	弘前大学21世紀教育センター
編集	『21世紀教育フォーラム』編集委員会
	連絡先(編集委員長) 〒036-8560 青森県弘前市文京町1
	21世紀教育センター高等教育研究開発室
	田中正弘
	電話: 0172-39-3920
	E-Mail: masatana@cc.hirosaki-u.ac.jp
発行年月日	2014年3月31日
印刷・製本	やまと印刷株式会社

21

s
t

Century Education Forum

Vol. 9 2014

Center for 21st Century Education Hirosaki University

SPECIAL ISSUES

- 1 Learning Spaces for Active Learning in University Kazumasa HAYASHI

ARTICLES

- 9 Implementation of the Bologna Process and Problems on the New Degree and Credit Systems:
German and Swiss Experiences Masahiro TANAKA, Rie MORI
- 19 A Study of Active Learning which intend Area Contribution: Seek of Customer Satisfaction
Muneyoshi YASUDA
- 27 The Effect of Workshop in Introduction to Clinical Medicine for 1st Grade Medical Students.
Hiroyuki KATO, Hideya MATSUTANI, Hiroshi OSAWA, Akio NAKANE
- 35 Promoting Creative Tasks in the Foreign Language Classroom Brian BIRDSELL
- 43 Ability to be able to Enjoy the Work: Contact with the Active Learning Shigetaka KOISO
- 53 The Grammar Teaching Conundrum—A Reflective Essay Edward FORSYTHE

BOOKREVIEW

- 61 Takashi ABE, Kiyoshi SANADA, Hayao OZAKI, Sarcopenia:
Evidence and Implications for Preventive Strategies (NAP Limited 2013) (Manabu TOTSUKA)
- 63 Yui Fujimoto "The University after the Classics" (NTT Publishing, 2012) (Masato NIHEI)

CONFERENCE/FACULTY DEVELOPMENT MINUTES

- 65 Exchange of opinions about the essential basic education in the field of life sciences (biology)
—A report of 2013 FD roundtable discussion meeting in the department of agriculture/life sciences—
(The 21st Century Education Centre News, Vol.22, September 2013) Hiroshi OHKAWA
- 67 Considering Active Learning: From Practising the Class of The Future of Human Beings
(The 21st Century Education Centre News, Vol.22, September 2013) Shoji FUJITA
- 69 2013 Hirosaki University FD Workshop for Part-time Teachers
—Exchange of Opinions on 21st Century Education—
(The 21st Century Education Centre News, Vol.22, September 2013) Masahiro TANAKA

OTHER TOPICS

- 71 The Results of the Student Questionnaire on 21st Century Education
(The 21st Century Education Centre News, Vol.22, September 2013)